

令和 8 年度

広島県公立高等学校入学者選抜実施内容シート
【定員等入り】

(令和 7 年 11 月 21 日更新)

広	島	県	教	育	委	員	会
広	島	市	教	育	委	員	会
呉	市	教	育	委	員	会	
尾	道	市	教	育	委	員	会
福	山	市	教	育	委	員	会

目次

地区	高等学校名	ページ
【全日制課程(本校)】		
		一次 二次
中区	広島国泰寺	1 114
	広島市立基町	3 116
	広島市立舟入	5 118
	広島商業	7 120
東区	広島市立広島商業	8 121
南区	広島皆実	9 122
	広島工業	12 125
	広島市立広島工業	17 130
西区	広島井口	18 131
	広島観音	19 132
安佐南区	安古市	20 133
	安西	21 134
	祇園北	22 135
	広島市立沼田	24 137
安佐北区	可部	26 139
	高陽	27 140
	高陽東	28 141
安芸区	安芸南	29 142
佐伯区	五日市	30 143
	湯来南	31 144
	広島市立美鈴が丘	32 145
呉市	広	33 146
	呉宮原	34 147
	呉三津田	35 148
	音戸	36 149
	呉工業	37 150
	呉商業	39 152
	呉市立呉	40 153
竹原市	竹原	41 154
	忠海	43 156
三原市	三原	44 157
	三原東	45 158
	総合技術	46 159
尾道市	尾道東	47 160
	御調	49 162
	瀬戸田	50 163
	尾道商業	51 164
	尾道北	52 165
	因島	53 166
福山市	福山葦陽	54 167
	沼南	55 168
	大門	57 170
	福山明王台	59 172
	神辺旭	60 173
	福山工業	62 175
	福山商業	67 180
	福山誠之館	68 181
	松永	69 182
	神辺	70 183
	戸手	71 184

地区	高等学校名	ページ
		一次 二次
府中市	府中	72 185
	上下	73 186
	府中東	74 187
三次市	日彰館	77 190
	三次青陵	78 191
庄原市	庄原格致	79 192
	東城	81 194
	西城紫水	82 195
	庄原実業	83 196
大竹市	大竹	84 197
東広島市	賀茂	85 198
	賀茂北	86 199
	黒瀬	87 200
	河内	89 202
	豊田	90 203
	西条農業	91 204
廿日市市	廿日市	92 205
	佐伯	93 206
	廿日市西	94 207
	宮島工業	95 208
安芸高田市	吉田	96 209
	向原	98 211
江田島市	大柿	99 212
府中町	安芸府中	100 213
海田町	海田	102 215
熊野町	熊野	104 217
安芸太田町	加計	105 218
北広島町	千代田	106 219
大崎上島町	大崎海星	107 220
世羅町	世羅	108 221
神石高原町	油木	111 224
【全日制課程(分校)】		
		一次 二次
北広島町	加計・芸北	113 226
【全日制課程(併設型高等学校)】		
		一次 二次
福山市	福山市立福山	227 230
三次市	三次	228 231
東広島市	広島	229 232
【全日制課程(連携型選抜※)】		
安芸太田町	加計	233
尾道市	御調	234
東広島市	賀茂北	235
神石高原町	油木	236
北広島町	加計・芸北	238

地区	高等学校名	ページ
		一次 二次
安佐北区	可部	239 255
呉市	呉工業	240 256
三原市	三原	242 258
尾道市	広島県尾道南	243 259
	因島	244 260
福山市	福山誠之館	245 261
	福山葦陽	246 262
	松永	247 263
	芦品まなび学園	248 264
	福山工業	249 265
三次市	三次	251 267
東広島市	賀茂	252 268
廿日市市	廿日市	253 269
	宮島工業	254 270
【通信制課程】		
福山市	東	271
【フレキシブル課程】		
		一次 二次
中区	広島市立広島みらい創生	272 274
【実施内容一覧表】		
表の見方		276
実施内容一覧表		278
<様式について>		
○様式第1号の1		
一次選抜		
○様式第1号の2		
二次選抜		
○様式第2号の1		
一次選抜(連携型高等学校)		
○様式第2号の2		
二次選抜(連携型高等学校)		
○様式第2号の3		
連携型選抜※		
○様式第3号の1		
一次選抜(併設型高等学校)		
○様式第3号の2		
二次選抜(併設型高等学校)		
○様式第4号		
通信制の課程の選抜		
※連携型選抜とは、連携型中高一貫教育に関する選抜のことです。		

令和8年度入学者選抜の概要

高等学校全日制課程

併設型高等学校

高等学校定時制課程

高等学校フレキシブル課程

選抜日程
(2月25日～2月27日)

【検査内容】

- 一般学力検査（5教科）
 - 自己表現
 - 学校独自検査
- 学校によっては、面接・作文・小論文・実技検査・自校作成問題による学力検査等の学校独自検査を行います。

【検査内容】

- 学力検査
(自校作成問題による国・数・英の3教科)
- 自己表現
- 学校独自検査

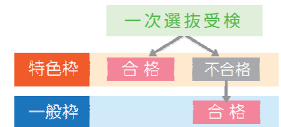
【検査内容】

- 一般学力検査
(原則5教科※)
 - 自己表現
 - 学校独自検査
- ※ 外国人生徒等の特別措置の対象者は国・数・英の3教科及び作文・面接

【合格者の決定】

学力検査、調査書、自己表現及び学校独自検査の結果を総合的に判断して決定します。
なお、特色枠による選抜を実施した学科・コースにあっては、特色枠による選抜により合格者を決定した後、一般枠による選抜により合格者を決定します。

特色枠による選抜
を実施する
学科・コース



<特色枠による選抜>

- ・ 学科・コースの特色が出る内容で実施する選抜方式
- ・ 入学定員の50%以内で合格者を決定
- ・ 特色枠による選抜を実施しない学科もあります。

<一般枠による選抜>

- ・ 全ての学科・コースで統一して実施する選抜方式
- ・ 入学定員の50%以上の合格者を決定

選抜日程
(フレキシブルは3月23日)
(3月17日)

【検査内容】

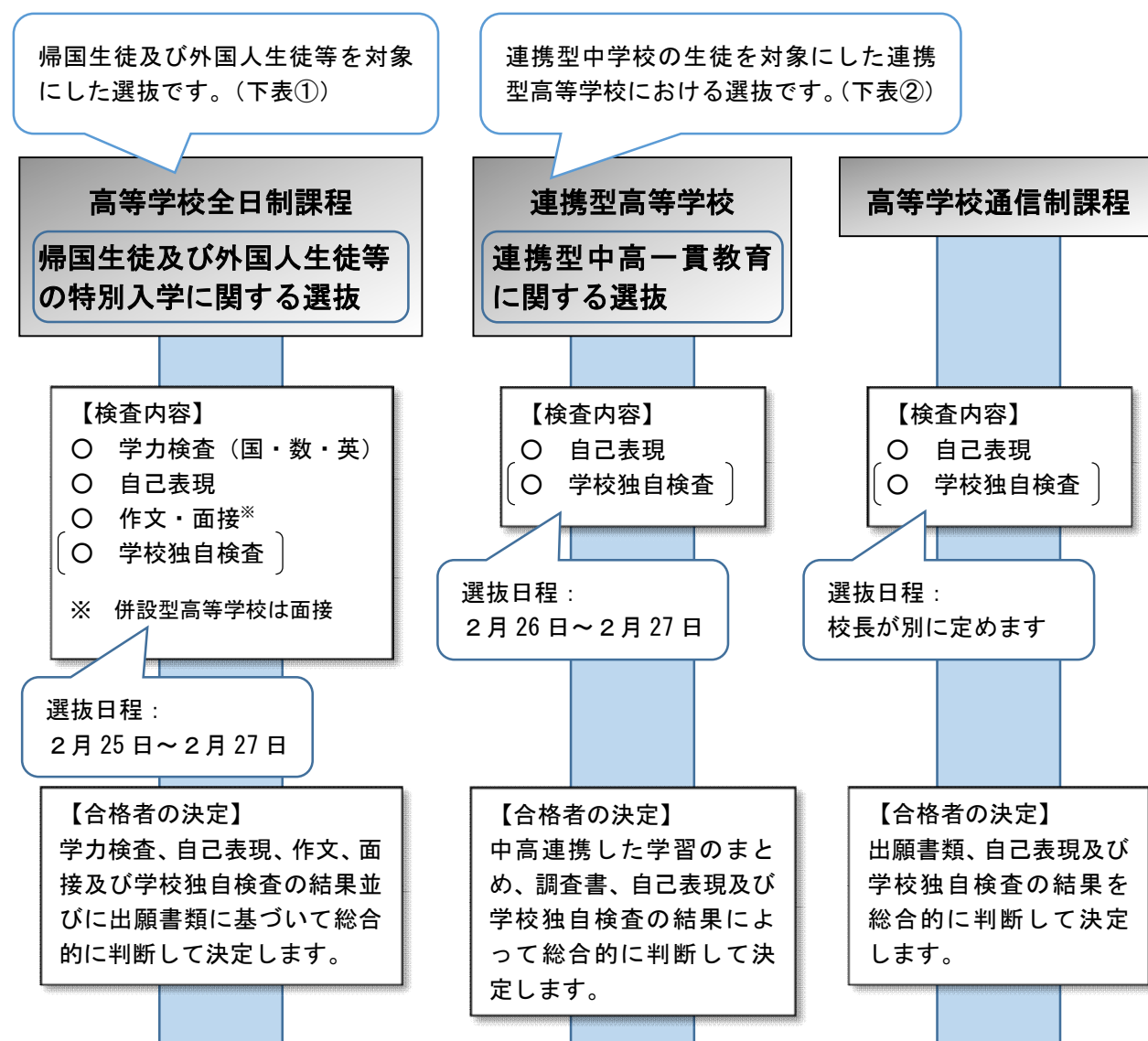
- 自己表現
- 学校独自検査

【合格者の決定】

調査書、自己表現及び学校独自検査の結果を総合的に判断して決定します。

一次選抜

二次選抜（入学定員に満たない場合に実施）



選抜	①帰国生徒及び外国人生徒等の特別入学に関する選抜	②連携型中高一貫教育に関する選抜												
定員	入学定員外で各高等学校2人以内	入学定員の範囲内で、高等学校長が定めます												
出願資格	＜帰国生徒＞ 日本国籍等で高等学校入学資格を有し、次のaからdまでのいずれかに該当する者 a 海外在住期間が2年以上3年未満で、帰国後の期間が1年以内の者 b 海外在住期間が3年以上4年未満で、帰国後の期間が2年以内の者 c 海外在住期間が4年以上9年未満で、帰国後の期間が3年以内の者 d 海外在住期間が9年以上で、帰国後の期間が6年以内の者 ＜外国人生徒＞ 外国籍を有する者で、中学校卒業又は卒業見込み、かつ、原則として、入国後の在日期間が6年以内の者	連携型中学校を令和8年3月に卒業する見込みの者で、次の条件を満たす者 (7) 当該学校を志望する動機・理由が明白かつ適切であること (4) 当該学校に対する適性、興味・関心及び学習意欲を有すること <table><tr><td>連携型高等学校名</td><td>連携型中学校名</td></tr><tr><td>県立加計高等学校</td><td>安芸太田町立加計中学校 安芸太田町立安芸太田中学校</td></tr><tr><td>県立加計高等学校芸北分校</td><td>北広島町立芸北中学校</td></tr><tr><td>県立御調高等学校</td><td>尾道市立御調中学校</td></tr><tr><td>県立油木高等学校</td><td>神石高原町立神石高原中学校 神石高原町立三和中学校</td></tr><tr><td>県立賀茂北高等学校</td><td>東広島市立豊栄中学校</td></tr></table>	連携型高等学校名	連携型中学校名	県立加計高等学校	安芸太田町立加計中学校 安芸太田町立安芸太田中学校	県立加計高等学校芸北分校	北広島町立芸北中学校	県立御調高等学校	尾道市立御調中学校	県立油木高等学校	神石高原町立神石高原中学校 神石高原町立三和中学校	県立賀茂北高等学校	東広島市立豊栄中学校
連携型高等学校名	連携型中学校名													
県立加計高等学校	安芸太田町立加計中学校 安芸太田町立安芸太田中学校													
県立加計高等学校芸北分校	北広島町立芸北中学校													
県立御調高等学校	尾道市立御調中学校													
県立油木高等学校	神石高原町立神石高原中学校 神石高原町立三和中学校													
県立賀茂北高等学校	東広島市立豊栄中学校													

入学者選抜実施内容シートの見方

<例>

一次選抜

●●高等学校 ●●●課程 ●●学科 [] コース

1	教育目標																																							
	育てたい生徒像																																							
	入学者受入方針																																							
2	項 目	内 容																																						
3	入学定員	240 人																																						
	枠	① 特色枠						② 一般枠																																
4	割合（人数）	20%（48 人）						80%（192 人）																																
	配点の比重	一般学力検査：調査書：自己表現：学校独自検査 ＝ 4：4：2：2 （400：400：200：200）						一般学力検査：調査書：自己表現：学校独自検査 ＝ 6：2：2：1 （600：200：200：100）																																
5	一般学力検査																																							
	実施内容	一般学力検査 ☒ 国語 ☒ 社会 ☒ 数学 ☒ 理科 ☒ 英語 一般学力検査に替えて自校作成問題により実施する学力検査 ☐ 国語 ☐ 社会 ☐ 数学 ☐ 理科 ☐ 英語																																						
6	配点	450 点 → 400 点に換算						250 点 → 600 点に換算																																
		☐ 標準 ☒ 傾斜配点・活用教科の設定あり <table border="1"> <tr> <th>国語</th> <th>社会</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>英語</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>50</td> <td>50</td> <td>150</td> <td>150</td> <td>50</td> <td>450</td> </tr> </table>						国語	社会	数学	理科	英語	計	50	50	150	150	50	450	☒ 標準 ☐ 傾斜配点の設定あり <table border="1"> <tr> <th>国語</th> <th>社会</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>英語</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>250</td> </tr> </table>						国語	社会	数学	理科	英語	計	50	50	50	50	50	250			
国語	社会	数学	理科	英語	計																																			
50	50	150	150	50	450																																			
国語	社会	数学	理科	英語	計																																			
50	50	50	50	50	250																																			
7	調査書																																							
	配点	325 点 → 400 点に換算						225 点 → 200 点に換算																																
8	自己表現																																							
	配点	30 点 → 200 点に換算						30 点 → 200 点に換算																																
9	学校独自検査																																							
	実施内容	・小論文〔60 分〕 ・一般学力検査に加えて、数学の自校作成問題による学力検査〔20 分〕																																						
10	配点	100 点 → 200 点に換算						50 点 → 100 点に換算																																
		<table border="1"> <tr> <th>面接</th> <th>作文</th> <th>小論文</th> <th>実技</th> <th>学力</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>50</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> <td>100</td> </tr> </table>						面接	作文	小論文	実技	学力	その他	計			50		50		100	<table border="1"> <tr> <th>面接</th> <th>作文</th> <th>小論文</th> <th>実技</th> <th>学力</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>50</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>50</td> </tr> </table>						面接	作文	小論文	実技	学力	その他	計			50			
面接	作文	小論文	実技	学力	その他	計																																		
		50		50		100																																		
面接	作文	小論文	実技	学力	その他	計																																		
		50				50																																		
10	特記事項																																							
	学校独自提出書類	・入寮希望調査票 〔調査書に添付して提出すること。〕																																						
10	その他	普通科〔●●〕コースを第2志望とすることを認める。																																						

次の内容は「一次選抜」の入学者選抜実施内容シートの見方についてまとめたものです。
「二次選抜」、「連携型選抜」及び「通信制の課程の選抜」についても、この見方に準じます。

1 「教育目標」「育てたい生徒像」「入学者受入方針」

- 「教育目標」とは、その高等学校や学科・コースで、どのような教育活動を行っていくのかを示したものです。
- 「育てたい生徒像」とは、その高等学校や学科・コースでの生活や教育活動を通じて、どのような生徒に育てたいのかを示したものです。
- 「入学者受入方針」とは、「教育目標」や「育てたい生徒像」を踏まえて、入学時に期待される生徒像を示したものです。

2 入学定員

入学できる人数を示したものです。一次選抜の定員は「入学定員」と同じです。

ただし、秋季入学のための選抜を実施する学校（広島市立広島みらい創生高等学校を除く。）にあっては、入学定員から秋季入学のための選抜の定員を除いた人数、連携型高等学校にあっては、入学定員から連携型中高一貫教育に関する選抜の合格者数を除いた人数、併設型高等学校にあっては、入学定員から併設型中学校からの入学予定者の数を除いた人数が一次選抜の定員となります。

3 「特色枠による選抜」「一般枠による選抜」及びその割合

- 「特色枠による選抜」を実施する学科・コースにあっては、「特色枠による選抜」により合格者を決定した後、「特色枠による選抜」で合格者とならなかった全ての受検者から、「一般枠による選抜」により合格者を決定します。
なお、「特色枠による選抜」と「一般枠による選抜」はどちらか一方を選んで出願するものではありません。
- 「割合(%)」の欄の数字は、入学定員に対する割合を示しています。
- 「特色枠による選抜」を実施しない学校又は学科については、「特色枠による選抜」の欄が全て空白になっています。

4 配点の比重

- 「特色枠による選抜」の学力検査、調査書、自己表現及び学校独自検査の配点の比重は、各高等学校において定めます。
この例では、学力検査、調査書及び自己表現の配点の比重が4：4：2となっています。これは、学力検査、調査書及び自己表現の合計を10割として、学力検査と調査書の配点をそれぞれ4割、自己表現の配点を2割で計算し直すことを意味しています。
なお、学校独自検査をする高等学校では、その配点の比重も記載します。
また、（ ）に記載されている数値は、学力検査、調査書及び自己表現の合計を1,000点満点とした配点です。この例では、学力検査、調査書、自己表現及び学校独自検査の配点をそれぞれ、400点、400点、200点、200点に換算します。
- 「一般枠による選抜」の学力検査、調査書及び自己表現の配点の比重は、全ての高等学校において、6：2：2となっています。

5 学力検査の実施内容

原則として、国語、社会、数学、理科、外国語（英語）の5教科^{※1}の一般学力検査を実施します。一般学力検査に替えて自校作成問題により学力検査を実施する高等学校では、「一般学力検査に替えて自校作成問題により実施する学力検査」にチェック（☒）が入ります。

※1 併設型高等学校においては、国語、数学、英語の自校作成問題による学力検査を実施します。また、併設型高等学校によっては、社会及び理科の一般学力検査を加えて実施する場合があります。

6 学力検査の配点

一般学力検査の配点は、各教科 50 点満点です。^{※2}
高等学校によっては、教科の配点に傾斜をかける場合があります。この例の「特色枠による選抜」では、数学及び理科は配点を 3 倍にする傾斜配点を実施しており、それぞれ 150 点満点となります。

※2 併設型高等学校における自校作成問題による学力検査の配点は、各高等学校が定めます。

7 調査書の配点

調査書の配点は、第1学年及び第2学年については、学習の記録（評定）がそのまま記載され、第3学年については、学習の記録（評定）を3倍して記載されます。各教科 25 点満点（5 + 5 + 15）となり、9教科の合計は 225 点満点となります。
高等学校によっては、教科の配点に傾斜をかける場合があります。この例の「特色枠による選抜」では、数学及び理科は得点を3倍にする傾斜配点を実施しており、それぞれ 75 点満点となります。

8 自己表現の配点

自己表現の配点は、検査官一人当たり 15 点満点で、学校があらかじめ定める自己表現の検査官の人数（2～3人）に応じて定められます。この例では、検査官2人で30点満点となっています。

9 学校独自検査

学科・コースによっては、特色に応じて実技検査や作文などの学校独自検査を実施する場合があります。
実施内容については、検査時間も記載しています。なお、面接の時間については、目安の時間となります。
この例のように、「特色枠による選抜」にのみ配点が記載されている実施内容についても、原則として全員が受検します。

10 特記事項

- 学科・コースによっては、この例のように、入寮希望調査票などの学校独自の提出書類があります。
- 学科・コースによっては、併願が可能な場合があります。この例の学科を第1志望とする場合、普通科〔●●〕コースを第2志望とすることができます。
そのほかにも、全国募集を実施する高等学校、技能連携を実施する学科、くくり募集を実施する学科については、「その他」に記載があります。